

おまえざき

御前崎ロングビーチ・御前崎灯台周辺エリア

自然とマリンレジャーを存分に味わう 御前崎トップエリア
最南端の岬から 時の色と地球を丸く感じる 御前崎灯台周辺エリア



① 多くの人で賑わうマリンスポーツの地



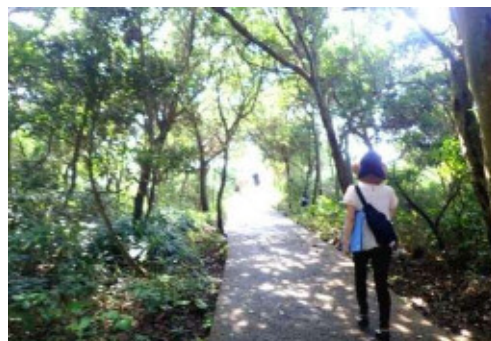
② 遠州灘に沿って続くロングビーチ



③ 起伏に富んだ地形が生む、灯台と海の景観



④ 御前崎の魅力や移ろいが重なり合い
生まれる魅力的な灯台や展望台



⑤ 周辺の自然が生み出す変化を
楽しむ遊歩道



⑥ 春や夏には多くの来訪者が訪れる
一大観光地

所在地	御前崎市御前崎1565-2（渚の交番）
面積	約150ha
施設	御前崎灯台、渚の交番、カフェ、駐車場、トイレ等
アクセス	【車】 掛川駅から車で約45分 東名高速道路 相良牧之原 I Cから約50分 【公共交通】 御前崎海洋センターバス停から渚の交番まで徒歩約13分

観光

『日本の朝日・夕日百選』にも選ばれたウィンドサーフィンやサーフィンのメッカ、県道357号線沿いにある海岸線「御前崎ロングビーチ」。御前崎の最南端の一角を指しており、ダイナミックな太平洋と穏やかな駿河湾のふたつの海を眺めることができる。さらに、サーフィンやボディボード、ウィンドサーフィンを楽しむ好条件が揃っており、プロだけでなく、一般の人でもマリンスポーツを気軽に楽しめるスポット。オールを使って水面を漕ぎながら遊べるSUP（サップ）も人気。また「御前崎ロングビーチ」は太平洋自転車道でもあり、海を眺めながらサイクリングを楽しむことのできるスポットでもある。

「渚の交番」は海や地域のパトロール、マリンスポーツの体験教室、環境保全活動など、御前崎の海と人を結ぶ事業を実施している。

「御前崎灯台（おまえさきとうだい）」は、御前崎市の最南端に立つ、白亜の塔形をしたレンガ造の展望可能な大型灯台である。『日本の灯台50選』に選ばれているほか、歴史的・文化的価値の高さから、Aランクの保存灯台に指定され、市を代表する観光地である。

御前崎灯台西側に位置する「御前崎ケープパーク（御前崎遠州灘県立自然公園の一部）」では、遠州灘の景色と風を感じることができ、展望台だけでなく、スカシユリ、ヤブツバキなど、四季折々の草花も楽しめる。なお、『恋人の聖地』に認定されている。

文化

各種マリンスポーツの世界大会の会場にもなるほど地形や環境に優れ、知名度の高さから海外から多くのプロが訪問し、『ウィンドサーフィンやサーフィンのメッカ』として知られている。

地形

視界を遮る物が一切ない「御前崎ロングビーチ」。朝日と夕日の時間帯が特に美しく、『日本の朝日百選』・『日本の夕日百選』をダブル認定されている。また「御前崎ロングビーチ」周辺は高台となっているため、高台から海や灯台をセットで見ることができ、起伏に富んだ地形と自然が創り出す眺望が特徴的である。

御前崎灯台下周辺では干潮時に数百メートル沖合まで磯場が露出し、小魚やカニなど海の生き物の姿を発見でき、大人から子どもまで時間を忘れて自然と触れ合うことができる。

2. 対象エリアの位置図



① 多くの人で賑わうマリンスポーツの地

(1) マリンスポーツ



多くの人から愛されるマリンスポーツのメッカ

「御前崎ロングビーチ」はマリンスポーツのメッカであるとともに、磯遊び等のマリンレジャーも活発であり、海を筆頭とした御前崎市の豊かな自然と人の活動が生み出すロングビーチならではの景観がある。

さらに、夏の磯遊びやスポーツ大会等の際には市内外から多くの人を訪れる御前崎市の一大観光地である。これからも「御前崎ロングビーチ」特有の景観が維持されるように、以下のことが大切である。

1. これからも活発に利用してもらうために、設備が不十分な箇所を改善し、今活動している人がこれからも利用しなくなる場とする（一部トイレの老朽化等がみられる）
2. 海の資源を一定のルールの中で使える・楽しめる環境を整える
3. これからも多くの人を訪れてくれるようにP Rを推進する

② 遠州灘に沿って続くロングビーチ

(1) 海岸



約3km続く海岸線

遠州灘沿いに約3km続く海岸は「御前崎ロングビーチ」の景観を形成する上で最も重要な資源である。

しかしながら、海岸の侵食により砂浜は減少しつつあるため、これからも海岸景観が守られるように対策を講じることが必要である。

〈景観形成の主な課題〉

- ・マリンスポーツ・マリンレジャーにより創出される景観を維持するために設備や環境が不十分な箇所を改善（老朽化したトイレ等）
- ・海岸景観とマリンスポーツ等の景観を形成する砂浜が減少

③ 起伏に富んだ地形が生む、灯台と海の景観

(1) 地形



地域に愛されるビュースポット

「御前崎ロングビーチ」周辺は高台から望む海と灯台・地形が一体となった景観や、高台にある住宅地から海を見下ろす景観等、起伏に富んだ地形と自然が創り出す景観が特徴的である。

さらにこれらの場を地元住民や利用者は大切であると考えているため、清掃活動が行われているほか、上位関連計画に景観のイメージアップへの取り組みが記載されている。

高台から御前崎灯台や遠州灘の海をセットで見下ろすことが特徴的な景観があるが、灯台方面に進むにつれ道路が低くなることから、護岸の存在により車や自転車で走行していても海を眺めることができない。さらに周辺の樹木が成長し、眺望を妨げる恐れも考えられる。

その上、太平洋自転車道は砂や漂着物が溜まってしまい走行の妨げになっていることや、歩道が一部細いため、安全に走行できる環境にない。

このことから、走行中でも良好な眺望が楽しめる道路や、安全にサイクリングを楽しむことができる自転車道への改修、さらには、良好な眺望を維持する取り組みが必要である。

〈景観形成の主な課題〉

- ・住民活動の継続
- ・海岸線沿いの道路から海を眺めることができない
- ・安全に走行できない自転車道
- ・眺望や安全な通行を妨げるゴミ、樹木等の発生

④ 御前崎の魅力や移ろいが重なり合い、生まれる魅力的な灯台・展望台

(1) 灯台・御前崎ケープパーク



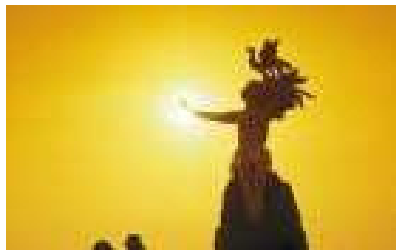
時間や天候などで移り変わる景観

「御前崎灯台」・「御前崎海岸」・「御前崎ケープパーク」は、本市を代表する観光地であり、市内外から多くの来訪者が訪れる。

これらの来訪者は、海岸、灯台に魅力を感じているだけではなく、御前崎灯台周辺が海、風、空、地形（高台）、高台に建つ灯台、時間や季節によって移り変わる太陽や草木・温度など、この場に存在する魅力の重なりや移ろいによって生み出された空間であることに魅力を感じ、訪れているのだと考えられる。

このことから、御前崎市の観光の核として魅力拡充とイメージアップを図るために、魅力的な場や眺望を最大限に感じることができる場の整備や、イメージをダウンさせる要素の改善（御前崎灯台遊歩道周辺にある廃墟が景観を阻害）が必要である。

さらに、この魅力を促進・保全していくために、イベントの実施や定期的な清掃運動等を地域住民やボランティア、NPO、市等が協力し、実施していくことが必要である。



〈景観形成の主な課題〉

・魅力的な場や眺望を最大限に感じることができる場の整備と保全が必要

⑤ 遊歩道と周辺の自然が生み出す変化を楽しむ遊歩道

(1) 遊歩道



行き先や時間で表情を変える魅力的な遊歩道

「御前崎ケープパーク」は、夏にスカシユリ、秋にツツブキ、冬にヤブツバキが咲き乱れ、自然公園内の緑の木漏れ日等が遊歩道全体を覆う自然溢れる公園となっており、行く先々や時間で表情を変える魅力的な場である。

しかし、灯台から遊歩道側を見た時に木々が生い茂り、奥に続く遊歩道が見えないことで、うっそうとしている印象を受けたり、灯台から遊歩道へ進みたいような場になっていないため、遊歩道に訪れる人が少ない状況である。さらに、魅力を伝えきれていない標識やアピールしたい植物以外の繁茂により、上手くPRされていない状況にある。

よって、来訪者が遊歩道にも足を運ぶよう、遊歩道の連続性と歩く楽しみ（シーケンス景観による見え隠れ）を整備していくことが必要である。また御前崎ケープパークは『恋人の聖地』に認定されていることから、さらなる誘客に向けてストーリー性を持たせる等のソフト対策が必要である。

⑥ 誰でも安全に利用できる場の整備

(1) 観光



市を代表する一大観光地

「御前崎灯台」には1年を通じて多くの来訪者が訪れ、「御前崎灯台」には年に約2万5千人、磯遊びには年約13万人の来場者が詰めかけ、大勢の住民や観光客で賑わいを見せている。

これからも市の一大観光地として来訪者の満足度を向上させるため、安全・安心な施設、施設のバリアフリー化、快適な環境を整備していくことが必要である。

〈景観形成の主な課題〉

- ・遊歩道の魅力を伝える整備やソフト対策が不足
- ・人を迎え入れる整備が不足

最南端の岬から自然とマリンレジャーを存分に味わう 御前崎トップエリア

地域住民の視点

- ・海の景観が優れているエリア
- ・駐車場も整備されているが、主な駐車場のトイレが取り壊されてから、サーファーも観光客も不便な思いをしているため、設備を充実させたい
- ・シャワーなどを整備し、砂遊びができるようにしたい
- ・漁業権が設定されているため、自由に磯遊びを楽しむことができなくなった
- ・楽しむための仕掛けが足りない
- ・沿海での集客イベントを漁協とリンクして行う
- ・砂浜の侵食
- ・侵食による海岸景観の変化
- ・どこからでもよい景色が楽しめるエリア
- ・海岸道路沿いの防潮堤が高くて、車から海が見えない

有識者の視点

- ・設備を整えることでマリンスポーツを楽しむ人たちが増えるきっかけになると考えられる
- ・漁協と「渚の交番」がタイアップし、磯遊びのために磯場を自由に使えるようにマネジメントできるとよい
- ・「渚の交番」で磯遊びセットが売られており、よい取り組みだと思ふ
- ・起伏に富んだ地形と蛇行した道路が灯台や海の眺めに変化を与えており、通過するシークエンス景観も楽しい
- ・民家の方々がお花でおもてなしをする等、地元がおもてなしの景観を作ることが課題
- ・灯台周りの碑はキレイに清掃されており、地域の人々の愛情を感じた。このような市民力は盛り上げてほしい
- ・構造物に手を加えず、素材を残しており、よい印象を受けた

目標 1

これからもマリンスポーツや
マリンレジャーを楽しむ人々で
形成される景観づくりを
推進



景観づくり方針

- ①人が海を使い楽しむ場づくり
- ②マリンスポーツやマリンレジャーの景観を広げる仕組みと体制づくり

目標 2

ロングビーチの自然を
将来に継承する



景観づくり方針

- ①大切な自然を守る保全活動の実施

目標 3

地形・自然・住宅地が
調和した景観づくり



景観づくり方針

- ①高台から望む海と灯台
・地形が一体となった美しい景観を印象づける景観づくり

目標 4

場の魅力や移ろいを
最大限に感じ、
見せる場づくり



景観づくり方針

- ① 場の魅力や移ろいを最大限に感じさせるしつらえを整備
- ② ポテンシャルを活かしたマリンアクティビティの場の整備

目標 5

場やシーンによって
表情を変える遊歩道を
際立たせ、次へと誘う
仕掛けづくり



景観づくり方針

- ① 遊歩道等シーケンス景観の魅力向上策としての整備

目標 6

誰でも安全に利用できる
場の整備



景観づくり方針

- ① 安全・安心・快適な御前崎ケーブルパークの整備
- ② 灯台前駐車場やサービス施設等の整備

目標1 これからもマリンスポーツやマリンレジャーを楽しむ人々で形成される景観づくりを推進

方針1-① 人が海を使い楽しむ場づくり

	取組み	実施主体
短期	1 既存トイレの撤去、新規整備 ・御前崎ロングビーチならではの景観を阻害せず、雰囲気をも高めるデザインとする 【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとなっていない】	・市
中・長期	2 シャワーの設備管理方法および設置検討	・市、事業者

方針1-② マリンスポーツ・マリンレジャーの景観を広げる仕組みと体制作り

	取組み	実施主体
短期	3 磯を自由に使えるように関係機関で調整を行う	・事業者、漁業関係者、市
	4 磯を活用したイベントの検討・実施 ・磯で自由に遊んだことのない子どものために磯遊びの仕方を教えるイベント等を検討・実施	・事業者、漁業関係者、市
	5 ロングビーチならではの景観の情報発信	・市、地域住民、事業者

目標2 ロングビーチの自然を将来に継承する

方針2-① 大切な自然を守る保全活動の実施

	取組み	実施主体
短期	6 清掃活動の継続	・事業者、利用者、地域住民
中・長期	7 遠州灘海岸侵食対策	・市

目標3 地形・自然・住宅地が調和した景観づくり

方針3-① 高台から望む海と灯台・地形が一体となった美しい景観を印象づける景観づくり

	取組み	実施主体
短期	8 道路への愛称の検討	・事業者、地域住民
	9 ロングビーチならではの景観の情報発信	・市、地域住民、事業者
	10 浜や自転車道の清掃活動の継続	・事業者、利用者、地域住民
	11 眺望を阻害する樹木の剪定 <small>・高台から見る灯台や海がセットとなった景観が特徴的である。この眺望を妨げるような樹木がある場合は剪定を実施し、良好な景観が維持できるようにする 【樹木等が眺望を妨げないように配慮する】</small>	・市
中・長期	12 景観計画の策定	・市、地域住民
	13 道路の嵩上げの検討	・県
	14 誰もが安全で安心して通行できる自転車道の整備	・県

目標4 場の魅力や移ろいを最大限に感じ、見せる場づくり

方針4-① 場の魅力や移ろいを最大限に感じさせるしつらえを整備

	取組み	実施主体
中・長期	15 電柱、電線の景観配慮	・市、事業者
	16 楽しく、美しく映るスポットの検討・整備	・市、渚の交番
	17 「ねずみ塚広場」および「方位信号所跡地」の活用検討と整備	・市
	18 「潮騒の像」の補修	・市
	19 「みさきの広場」の再整備	・市
	20 植栽の管理方法の確立	・市、地域
	21 景観を阻害する廃墟の撤去	・所有者

方針4-② ポテンシャルを活かしたマリンアクティビティの場の整備

	取組み	実施主体
中・長期	22 「御前埼灯台」、「御前崎ケーブルパーク」等を利用したイベントの検討・実施	・市、地域、渚の交番、 海上保安庁
	23 夕日のスポットとして展望台「夕日と風が見えるん台」、「恋人の聖地」等をアピール	・市、地域

目標5 場やシーンによって表情を変える遊歩道を際立たせ、次へと誘う仕掛けづくり

方針5 遊歩道等シーケンス景観の魅力向上策としての整備

	取組み	実施主体
中・長期	24 植栽の管理方法の確立	・市、地域
	25 魅力的な場を伝える観光案内標識の整備 (「見尾火燈明堂」やアカウミガメの産卵指定地域サインについて、設置位置や内容を検討・整備)	・市
	26 「潮騒の像」、「恋人の聖地」の整備 (「潮騒の像」へのアプローチの工夫や夜間のイルミネーション整備、サインの再整備等)	・市
	27 灯台下から灯台までのアクセスの再整備 (ベンチの移設・撤去、必要に応じてスロープやフットライト等の整備)	・市
	28 灯台下駐車場と「渚の交番」の間にある擁壁をサイン整備に有効活用	・市、渚の交番
	29 「恋人の聖地」における誘客検討 (ストーリー性を持たせる等のソフト対策)	・市

目標6 誰でも安全に利用できる場の整備

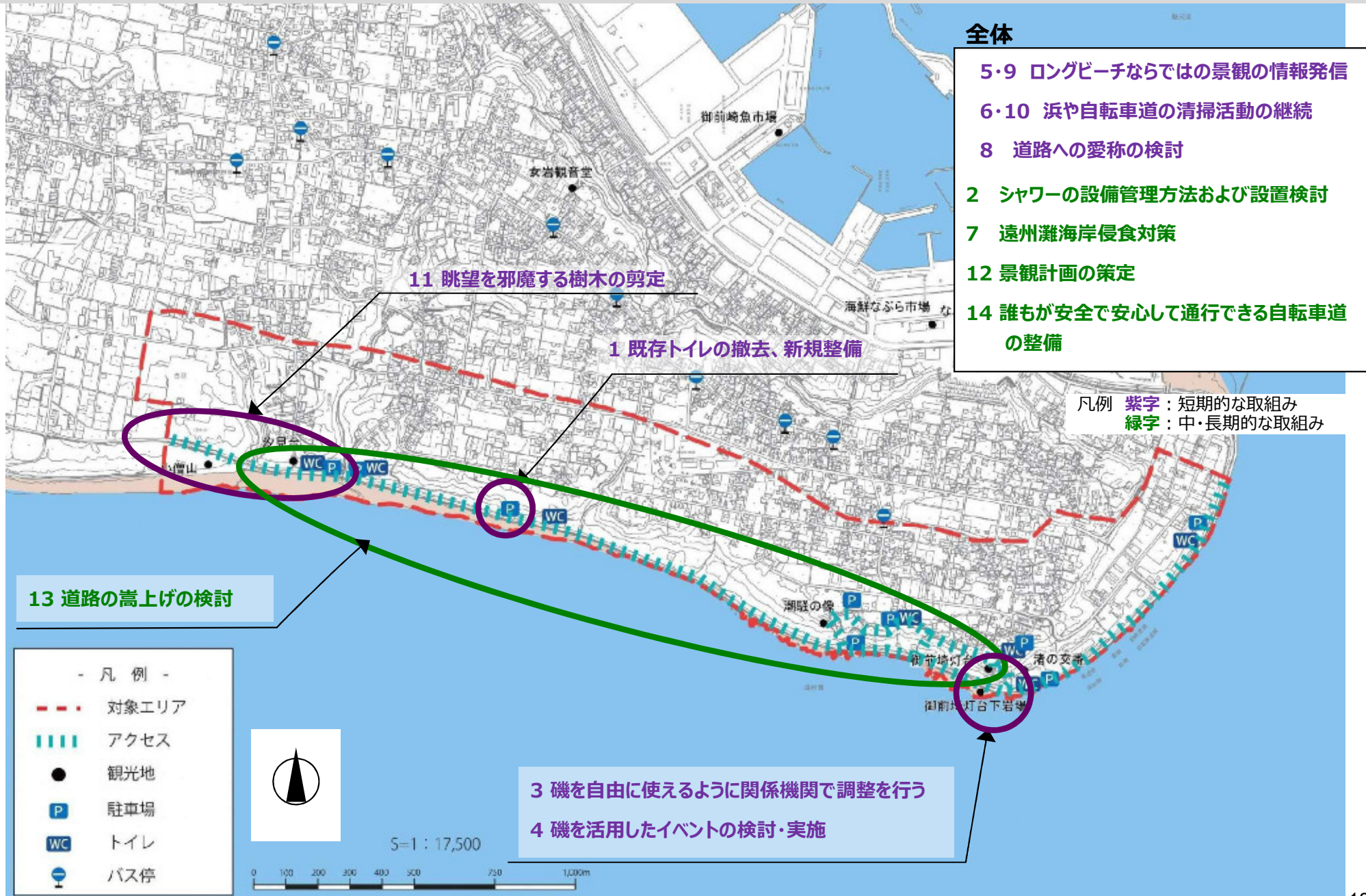
方針6-① 安全・安心・快適な御前崎ケーブルパークの整備

	取組み	実施主体
中・長期	30 「ねずみ塚広場」のトイレの再整備、駐車場の拡張と目的別利用	・市
	31 展望台や広場などに無料Wi-Fi環境整備の検討	・市
	32 夜間歩行可能とするためのアプローチの整備	・市
	33 遊歩道と私有地境界の明確化 (植え込みや見切りブロックなどを設置)	・市
	34 遊歩道沿いの健康ファニチャーやベンチの撤去や集約など改善	・市
	35 県道357号【県道佐倉御前崎港線】(灯台下駐車場から西側)の歩道整備検討	・県
	36 サンホテル跡地など未利用地の利活用について検討	・市
	37 灯台下駐車場の整備 (歩者分離や歩行者動線の確立、二輪車専用駐車場の区画を確保)	・市
	38 観光情報館やトイレの再整備 (観光情報館をアピールするサイン等の再整備、清掃方法の確立等)	・市、事業者 (渚の交番)

方針6-② 誰でも快適に使用できる灯台前駐車場やサービス施設等の整備

	取組み	実施主体
中・長期	39 植栽の管理方法の確立	・市、地域
	40 無料Wi-Fi環境整備の検討	・市

■ 御前崎ロングビーチ



全体

- 5・9 ロングビーチならではの景観の情報発信
- 6・10 浜や自転車道の清掃活動の継続
- 8 道路への愛称の検討
- 2 シャワーの設備管理方法および設置検討
- 7 遠州灘海岸侵食対策
- 12 景観計画の策定
- 14 誰もが安全で安心して通行できる自転車道の整備

凡例 紫字：短期的な取組み
緑字：中・長期的な取組み

■御前埼灯台・御前埼ケープパーク

全体

- 15 電柱、電線の景観配慮
- 16 楽しく、美しく映るスポットの検討・整備
- 20・24・39 植栽の管理方法の確立
- 21 景観を阻害する廃墟の撤去
- 22 「御前埼灯台」、「御前埼ケープパーク」、「御前埼海岸」等を利用したイベントの検討・実施
- 23 夕日のスポットとして展望台「夕日と風が見えるん台」、「恋人の聖地」等をアピール
- 25 魅力的な場を伝える観光案内標識の整備
- 27 灯台下から灯台までのアクセスの再整備
- 31 無料Wi-Fi環境の整備検討
- 32 夜間歩行可能とするためのアプローチの整備
- 33 遊歩道と民有地境界の明確化
- 34 遊歩道沿いの健康ファニチャーやベンチの撤去や集約など、改善
- 35 県道357号の歩道整備検討

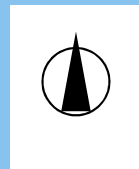
- 19 「みさきの広場」の再整備
- 28 灯台下駐車場と「渚の交番」の間にある擁壁をサイン整備に有効活用
- 36 サンホテル跡地など未利用地の利活用について検討
- 37 灯台下駐車場の整備
- 38 観光情報館やトイレの再整備

30 「ねずみ塚広場」のトイレの再整備、駐車場の拡張と目的別利用

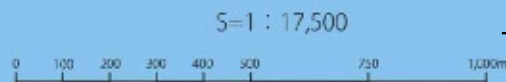
39 植栽の管理方法の確立
40 無料Wi-Fi環境整備の検討

17 「ねずみ塚広場」および「方位信号所跡地」の活用検討と整備
18 「潮騒の像」の補修
26 「潮騒の像」、「恋人の聖地」の整備

29 「恋人の聖地」における誘客検討



- 凡例 -
- 対象エリア
 - |||| アクセス
 - 観光地
 - P 駐車場
 - WC トイレ
 - バス停



凡例 紫字 : 短期的な取組み
緑字 : 中・長期的な取組み